



お客さまとともに

日本ユニシスグループは、「顧客第一主義」を表す「U&U (Users & Unisys)」をスローガンに、お客さまのビジョン実現や課題解決に向けて、お客さまとともに歩んでいます。

お客さまとのコミュニケーション

さまざまなイベントや、メディアを通じたタイムリーな情報発信・対話を図ることにより、お客さまとのより良いコミュニケーションをめざしています。

2008年度「BITS」を全国9カ所で開催

「BITS(ビット:Unisys Business & ICT Strategy Forum)」は日本ユニシスグループのお客さまや、広く企業・団体のみなさまを対象とした当社グループ最大のイベントで、毎年日本全国で開催しています。

2008年度は、当社グループのビジョンやソリューション・サービスのご紹介に加え、「ICT」「経済・経営」「環境」「地域活性」について各界の著名な有識者によりご講演いただき、多くのお客さまとともに有意義な時間を過ごすことができました。

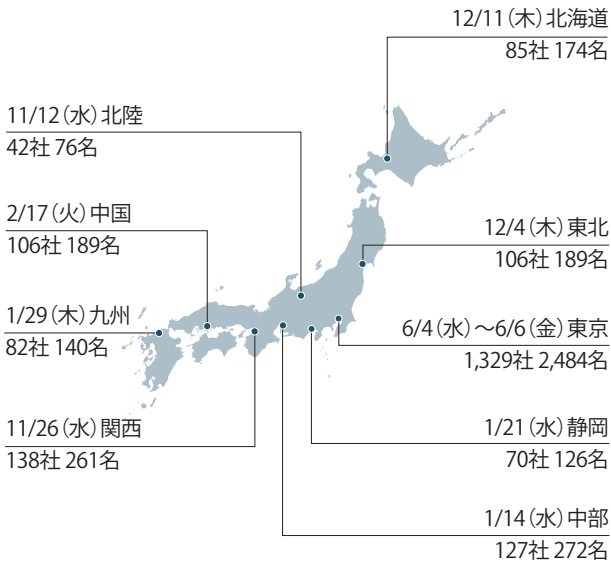


レセプションパーティ



日本ユニシスグループ50年史を展示

2008年度「BITS」開催日／開催地／参加人数(2008年6月～2009年2月)



ユニシス研究会を運営

ユニシス研究会は、日本ユニシスグループのユーザー会



として、発足以来さまざまな活動を行っています。

なかでも経営やICT活用に関して毎年20テーマほどで実施される研究活動は、経営層から担当者層まで幅広い層のみなさまに参加いただいています。相互交流の場としては、毎年開催される全国フォーラムでの記念講演や地域見学会のほか、全国9支部主催によるセミナー、企業見学会などが実施されています。2008年度の新春フォーラムでは、関東支部の幹事のみなさまより当社グループのCSR活動に関するご意見を頂戴しました。



エッカート賞*受賞者のみなさま



関東支部幹事会

*エッカート賞:コンピュータの生みの親として著名なエッカート博士にちなみ、毎年、論文、グループ研究報告などのなかで、とくに優れたものに対して贈られる賞

「Club Unisys+PLUS」の発行

日本ユニシスグループとお客さま、そして社会を結ぶコミュニケーション・ツールとして、「Club Unisys+PLUS」を2か月ごとに発行しています。広報誌(冊子)・Webサイト・eメールの3つのメディアを使い、社外のオピニオン・リーダーの方にお話しいただくほか、ICTと経営の視点からの特集や当社グループの取り組み紹介などを掲載しています。



「Club Unisys+PLUS」Webサイト



「Club Unisys+PLUS」広報誌

<http://www.unisys.co.jp/club/>

ユニシス研究会に参加いただいているお客さまから

ユニシス研究会の活動に、さまざまな立場で参加いただいているお客さまより、「ユニシス研究会」および「日本ユニシスグループCSR活動」に対するご意見・ご感想を頂戴しました。(カッコ内はユニシス研究会でのご役職／お立場)



ディーメテクス(株)
管理部システムグループ
グループリーダー
福島 雄治 様
(関東支部幹事／IT&S運営委員長)

ユニシス研究会には15年以上前から参加していますが、業種を越えた人々との交流を通じ、視野を広げられる貴重な存在です。日本ユニシスのCSRは先進的でありながらも地に足を着けた組織的な活動をされていると感じます。



(株)日本トラフィックコンピューターセンター
取締役 産業ソリューション部長
田辺 秀明 様
(関東支部幹事／論文審査委員長／IT&S運営副委員長)

日本ユニシスの「ICTが人と社会にできること」をテーマとしたCSR活動は、本業を通じた取り組みであることに意味があると思います。これにより社員一人ひとりが自然体で活動に参加していけるのだと思います。

フコク情報システム(株)
総務部 副部長
末田 浩一 様
(IT&S運営副委員長)

ユニシス研究会はいろいろな業種の方と研究活動を進めるため、社外の人とのネットワークを広げられるメリットがあります。日本ユニシスには、CSRの対応など先進的な取り組みについての情報発信を期待しています。



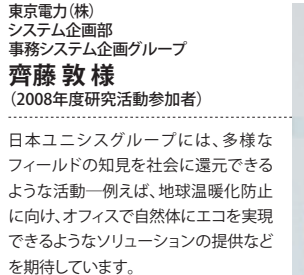
(株)ニコン
システム本部 システム企画部 主幹
竹鼻 博美 様
(関東支部副支部長／論文審査委員)

ユニシス研究会は、日本ユニシスの自由闊達な社風を反映し、透明性の高いユーザー会だと思っています。私自身、イベント参加や応募論文の審査を通じ、自社で得られない情報が得られるので、視野が広がり大変勉強になっています。



(株)三陽商会
バーバリーブルーレーベルDIV
三島 涼子 様
(論文審査委員)

企業見学会やセミナーでは新しい知識だけでなく、「目からウロコ」(!)な異なる着眼点に出会えることがあります。「CSR」は私自身の研究テーマでもあり、ユニシス研究会を通じ、他社事例を参考にしていきたいと思えます。



東京電力(株)
システム企画部
事務システム企画グループ
齊藤 敦 様
(2008年度研究活動参加者)

日本ユニシスグループには、多様なフィールドの知見を社会に還元できるような活動—例えば、地球温暖化防止に向け、オフィスで自然体にエコを実現できるようなソリューションの提供などを期待しています。



エスエス製薬(株)
ビジネスシステム推進部
エンタープライズシステム課
古仲 匠人 様
(2008年度研究活動参加者)

ユニシス研究会は、知識・理解を深める自己研鑽の場であり、さまざまな方と知り合い、情報交換できる交流の場です。研究活動とおして得た「知識・人脈(仲間)」は、何物にも代えがたい貴重な財産だと思っています。



生活協同組合連合会
コープネット事業連合
システム運営統括室 標準管理担当課長
棟方 あさの 様
(2008年度研究活動参加者)

研究活動での議論を通じ、新たな視野と挑戦する自信、大切な知己を得られました。ICTの社会的影響が大きくなるなか、日本ユニシスには、人間の知恵と情熱を結実できる取り組みを、最先端で牽引し続けていただきたいと思います。



試行錯誤の中で問題を解決していくことにやりがいを感じます。このやりがいを楽しみながら、新人研修を通じて戦力になっていきたいです。
2009年入社 西田 頼子



仕事やいろいろな人との新鮮な出会い。その一つひとつを大切にしながら、情報システムを通じて社会に貢献していきたいと思えます。
2008年入社 野口 雅文